

新しい学年を目前にして、この1年を振り返ろう！

今年度も今日で終わりです。充実した1年を過ごせたでしょうか？2週間の春休みをはさんで新年度を迎えます。2年生は3年生になり、進路を決定する1年となります。高校生活の集大成の時です。進路決定に向けての学習・準備は進んでいますか？また、1年生は2年生になり、中心学年になります。新学期を迎える前にもう一度1年間の学習習慣について振り返ってみましょう。



## 1年生へ **学習習慣を身につけましょう！ 基礎学力をつけましょう！**

### ① **学習習慣を見直し、成績アップを目指しましょう！**

#### 1. 学習時間 平日2時間、休日は3時間を目標にしましょう

スタディサポート等のデータによると、しっかり勉強できている人は、平日には2時間以上、休日には3時間以上学習していることがわかります。2年生になると、学習内容もレベルアップしてくるので、毎日確実に時間をかけて学習していくことが大切になってきます。

#### 2. 自宅学習 「予習 ⇒ 授業 ⇒ 宿題・復習」の学習サイクルを確立しましょう

予習・復習、小テストの勉強といった日々の授業・学習を大切にしていますか。着実に学力をつけていくためには、宿題や小テストの勉強、予習・復習など授業を中心とした学習をすることが大切です。毎日の授業を確実に理解していくためにも、「予習⇒授業⇒宿題・復習」の学習サイクルを徹底していきましょう。各授業で使用している問題集や参考書を大いに利用して勉強しましょう。卒業生のアンケートの中にも学校で使用していた教科書を何度も読み、問題集などを繰り返し解くことによって知識を定着させていったということが多く見られました。日ごろの積み重ねが基礎学力を作ります。その基礎学力が進路実現につながります。

### ② **春休みの過ごし方 ～1年間の総復習と新年度に向けての準備をしましょう～**

春休みの課題もたくさん出ています。新学期には課題考査もあります。苦手科目の克服などもこの春休みにしましょう。いいスタートをきれるように充実した春休みを送ってください。

## 2年生へ **いよいよ受験生です！進路実現のためしっかり勉強しましょう！**

3月9日に、卒業したばかりの先輩たちが貴重な体験談とみなさんへのアドバイスを話してくれました。みなさんの心に先輩たちの思いは届いたでしょうか。そのお話をまとめると次の11点になると思います。

- 受験勉強は早く始める。(特に英語の勉強)
- 毎日きちんとしたリズムで生活する。(朝6時に起きて12時には寝るなど)
- まとまった時間勉強する。  
(平均平日6時間、休日10時間以上勉強していました。)
- 時間を効果的に使う。  
(5教科7科目の勉強をするためには、勉強の割合を工夫する必要があるというアドバイスもありました。)
- 授業を真剣に受け、小テストの勉強を怠らず、定期テストのための勉強もしっかりする。  
(定期テストで出題されていた問題が過去問に出ていたという話がありましたが、入試ではよくあることです。)
- 勉強する環境を整える。  
(勉強するときは、テレビや音楽やスマホなどをいっさい排除して勉強に集中する。落ち着いて勉強できる場所を確保するなど。)
- 同じ問題集を繰り返し解く。理解しながら解く。  
(教科書や授業で使用している問題集をうまく利用して勉強していました。単語集の「ターゲット」や「スクランブル」という問題集の名前がよく出ていましたが、3年生で選択科目では使用する予定になっています。また、それ以外でも今年使用していた「スクランブルペーシック」や「コーパス4500」をもう一度やり直してもいいと思います。)
- 志望校を決めてそれに向けての対策をする。(センター対策も含めて) 過去問を何年分も解く。早めに一度解いて傾向を知る。  
(過去問を解いては合格点がとれず、何度もへこんだ。でもあきらめずに解き続けたという話もありました。)
- 部活と勉強の両立はできる。  
(10月まで続けた人もいました。部活していない人には絶対に負けたくないという気持ちで勉強していた人もいました。)
- 自分の中に限界を決めない。
- 最後まであきらめない。  
(あの会のあと関西大学文学部の後期試験で合格したといううれしい報告が届きました。最後まであきらめずに頑張った証だと思います。)

以上のことを忘れずに心にとどめておいてください。

## ① 受験勉強を始めましょう！

すでに受験勉強を始めている人もたくさんいると思います。でもまだ何もしていない人はこの春休みがスタートの時期です。3年生になってからとか部活を引退してからとか、何から勉強していいかわからないなどと言ってないで、**とにかく始める**ことです。春休みの課題などはもちろんですが、模擬試験をもう一度やり直すのもいいと思います。3年生になると、毎月1度は模擬試験を受けることになります。模擬試験は校内で行われる試験だけではなく、外部で行われる模試にも積極的に取り組んでみてください。先輩のアドバイスにもありますが、外部の人たちの中で本番さながらに受験する経験は非常に役に立ちます。そして、模擬試験を最大限に利用しましょう。同じ問題を何回も解く。何回解いても間違える問題は自分の弱点です。ノートに書きだして苦手問題ノートを作りましょう。先輩の話の中には、何回覚えようとしてもなかなか覚えられない英単語は単語カードに書きだしていつも持ち歩いたという話もありました。

公務員を目指す人は、各種専門学校で行われている無料の講座や模擬試験を大いに利用しましょう。面接対策をしてくれる学校もあります。また、公務員試験対策用問題集などで過去問対策をしましょう。

就職希望者の人は就職講座や就職模試を通して着実に力をつけましょう。最近の就職試験では筆記試験の出来が合否をわけると言われています。基礎学力をしっかり身につけましょう。

## ② オープンキャンパスに参加しましょう。

最近では春休み中にも多くの学校でオープンキャンパスが行われます。先輩たちの中にはオープンキャンパスに行って、模擬授業などを受けたり、施設設備を見たりして、ぜひその学校に行きたいと思ったという人もいますし、逆に自分が思っていたのとは違うと感じた人もいます。夏休みにもオープンキャンパスは行われますが、実際に自分の目で見て来るといことは志望校を決めるのには有効な方法の1つだと思います。保護者と行くのもいいと思います。

ただ、注意してほしいこともあります。特に専門学校についてですが、学校側の言うことをすべて鵜呑みにしないということです。よく聞くケースとして「この際にAO入試のエントリーシートを書いて提出してください。正式な合格は8月以降ですが、実質合格と同じように扱います。今なら入学金を〇万円免除します。」というような誘いがあったりするそうです。自分の将来を決める学校選びです。よく比較して慎重に決めましょう。

「入試はまだ先のこと」ではありません。部活を引退してからとか、もう少しあとでと先送りしていると後悔することになります。今できることから始めましょう。進路実現に向けて頑張りましょう！



### こぼれ話 1

先輩の話の中で、映画『ビリギャル』を見て刺激を受けて、自分もこうなりたいと思い、受験勉強のスイッチがはいったという話がありました。

『ビリギャル』のキーワードは『覚悟』だと思います。進路実現を目指して「勉強を毎日続ける覚悟」「第1志望合格を目指して最後まで頑張る覚悟」を持つことが必要です。つらくてもしんどくても『覚悟』してやりきることです。

### こぼれ話 2

「ビリギャル」の著者である塾講師の坪田信貴先生がビリギャルさやかちゃんが「受験生」として優れていた所として次のようなことを言われています。

とにかく、「毎日」「コツコツ」学習したことです。高2の夏だったのに、小学4年生レベルの学習にも、謙虚に戻って学習をしたことです。「受験」ってなんだかんだ言ってもある程度の期間戦わないといけないので、感情の波が出て、やったりやらなかったりします。でも、彼女はやりきりました。そこがとても優れていたところだと思います。

### こぼれ話 3

先輩の話の中に英語の勉強の仕方の話がありました。

『文法を制する者は英語を制する。英語を制する者は受験を制する。』という話がありました。その通りだと思います。その先輩はスクランブルを何周もして文法力を定着させていった結果、センター試験で75%の得点率だったそうです。もう一人の先輩も毎日スクランブル50ページを目標に解いていき、センター試験では80%以上得点することができました。そのうえで長文問題をどんどん解いていったそうです。英語の1つの勉強法として参考にしてください。